

法律学科 履修モデル

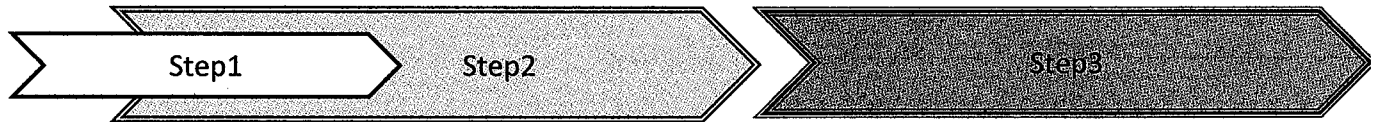
【公務員モデル】

公務員を目指す学生向けの履修モデル

1年次	2年次	3・4年次
統治の原理Ⅰ 統治の原理Ⅱ 民法Ⅰa(総則①) 民法Ⅱ(物権)	人権保障の原理Ⅰ 人権保障の原理Ⅱ 民法Ⅰb(総則②) 民法Ⅲa(債権総論①) 民法Ⅲb(契約) 民法Ⅳb(債権総論②) 民法Ⅵa(親族)	行政法総論Ⅰ 行政法総論Ⅱ 行政救済法Ⅰ 行政救済法Ⅱ 民法Ⅴ(不法行為) 民法Ⅳa(担保物権) 民法Ⅵb(相続)
基礎科目		展開科目



	2年次	3・4年次	
展開科目	司法公務	刑法総論Ⅰ 刑法総論Ⅱ 民事訴訟法	憲法訴訟 刑法各論Ⅰ 刑法各論Ⅱ 刑事訴訟法Ⅰ 刑事訴訟法Ⅱ
	行政公務	雇用関係法Ⅰ 労使関係法 社会保障法Ⅰ	憲法訴訟 環境法 地方自治法 税法Ⅰ 税法Ⅱ 雇用関係法Ⅱ 社会保障法Ⅱ
	外交・国際公務	国際法総論Ⅰ 領域の国際法 国際組織法 国際財産法 国際家族法 国際取引法	国際法総論Ⅱ 国際紛争と法 国際経済法 国際人権法 国際環境法



Step1

各法領域の基礎的な知識を身に付けるために基礎科目(2類)を履修する。

Step2

展開科目のうち、国家一般職試験、地方上級試験、裁判所職員採用試験に共通の試験科目にかかわる講義科目を配置している。順次履修することが望ましい。

Step3

「司法公務」「行政公務」「外交・国際公務」の科目群から、各自の希望進路に応じて、選択履修するとよい。

「司法公務」－展開科目のうち、裁判所職員採用試験の試験科目にかかわる講義科目を配置している。

「行政公務」－展開科目のうち、国家・地方自治体の行政職公務員として必要とされる素養を修得するために推奨される講義科目を配置している。

「外交・国際公務」－展開科目のうち、外交官や国際公務員として必要とされる素養を修得するために推奨される講義科目を配置している。